

建築研究所 ニュース



平成21年11月11日

住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業について

(専門紙記者懇談会資料)

平成21年11月11日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第3回専門紙記者懇談会」の配付資料をご案内します。

(内容の問い合わせ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 総務部総務課

氏名 大高 茂則

電話 029-879-0605(直通)

E-mail ootaka@kenken.go.jp

住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業

住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業（平成 21 年第 2 回）の
評価結果を公表しました。（11 月 5 日発表）

1. 平成 21 年度第 2 回の応募概要(全般部門)

- ① 公募期間： 7 月 15 日（水）～8 月 25 日（火）
- ② 応募件数： 52 件
- ③ 今回の応募提案の傾向・特徴：
 - ・ 過去 3 回に亘るプロジェクトの提案による省エネ・省 CO₂ の取り組みの蓄積を反映し、提案のレベルは更に高いものとなった。
 - ・ 「建築物（非住宅）」の提案では、人間の省エネ行動を誘発するような建築計画的な工夫や、使用者の知的生産性向上と省 CO₂ との調和を図る取り組みを行うものなど、次世代のモデルになるものが見られた。また、省エネの推進が難しいテナントビルにおいてテナント協働型の省エネ対策を提案するものなど、波及効果が期待できる取り組みも提案された。
 - ・ 改修に関する提案では、NPO 等との連携により戸建住宅において省エネリフォームの潜在需要を掘り起こす新たなビジネスモデルを提案するものがあった。
 - ・ 次回以降の提案においては、地方や中小規模のプロジェクトでの取り組みに期待したい。また、省 CO₂ 改修の先導事例となるものや省 CO₂ に係るビジネスモデルなどに着目した取り組みに期待したい。
- ④ 評価結果： 採択件数 20 件（採択提案は次ページのとおり）
 - ※ 評価結果の詳細については、建築研究所ホームページをご覧ください。

<http://www.kenken.go.jp/chouki/index.html>

なお、提案内容や評価結果等について、以下の通りシンポジウムを開催して情報提供する予定。

○第 4 回 住宅・建築物の省 CO₂ シンポジウムの開催概要

日 時：平成 21 年 12 月 2 日（水） 10：00～16：40

場 所： すまい・るホール（東京都文京区後楽）

主 催：（独）建築研究所、（社）日本サステナブル・ビルディング・コンソーシアム

後 援： 国土交通省

参加費： 無料

問い合わせ先
独立行政法人建築研究所
省 CO₂ 評価室 澤地 孝男
電話 029-864-6667
E-mail tsawachi@kenken.go.jp

2. 採択されたプロジェクトの一覧(全般部門)

部門	建物種別	プロジェクト名	代表提案者
新築	建築物 (非住宅)	大阪・中之島プロジェクト(東地区)省CO ₂ 推進事業	株式会社朝日新聞社
		(仮称)明治安田生命新東陽町ビル省CO ₂ 推進事業	明治安田生命保険相互会社
		(仮称)東五反田地区(B地区)省CO ₂ 推進事業	東洋製罐株式会社
		東京電機大学 東京千住キャンパス建設を端緒とする省CO ₂ エコキャンパス推進計画	学校法人 東京電機大学
		大林組技術研究所 新本館 省CO ₂ 推進計画	株式会社 大林組
		SPRC4PJ(塩野義製薬研究新棟)	塩野義製薬株式会社
		財団法人竹田総合病院総合医療センター省CO ₂ 推進事業	財団法人 竹田総合病院
		(仮称)京都水族館計画	オリックス不動産株式会社
		(仮称)三洋電機株式会社 加西事業所新工場(グリーンエナジー パーク)	三洋電機株式会社
	集合・戸建 住宅	あやめ池遊園地跡地・省CO ₂ タウンプロジェクト	近畿日本鉄道株式会社
集合 住宅	吉祥寺エコマンション計画	三菱地所株式会社	
	分譲マンションにおける「省CO ₂ 化プロトタイプ集合住宅」の提案	三井不動産レジデンシャル株式会社	
戸建 住宅	ポラスの超CO ₂ 削減サポートプロジェクト	グローバルホーム 株式会社	
	つくり手・住まい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省CO ₂ 木造住宅	株式会社アキュラホーム	
改修	戸建 住宅	地域活動を通じた総合的省エネ設計による戸建既存住宅における省CO ₂ 普及推進モデル事業	AGCガラスプロダクツ株式会社
技術の 検証		再生可能エネルギーを利用した建物間融通型エネルギーの面的利用による省CO ₂ 推進モデル事業	東京ガス株式会社
		蓄電池を取り入れた「カーボンマイナス&セーフティ住宅」“見える化”プロジェクト	三洋ホームズ株式会社
戸建工務店 対応事業		TRソーラーハウスの普及による省CO ₂ 促進計画	株式会社あつたか森の国から
		九州地域自立循環型住宅「ハイブリッド・エコハウス」	エコワークス 株式会社
		パナソニック耐震住宅工法 テクノストラクチャー 家まるごと 省CO ₂ 『エコイエ』プロジェクト	パナソニック電工株式会社

(参考) 住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業の概要

(平成 21 年度予算額 国費：70 億円)

家庭部門・業務部門のCO₂排出量が増加傾向にある中、住宅・建築物における省CO₂対策を強力に推進し、住宅・建築物の市場価値を高めるとともに、居住・生産環境の向上を図るため、省CO₂の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを公募によって募り、予算の範囲内において、整備費等の一部を補助し支援する。

①事業の流れ

- 国土交通省が民間事業者等に対して提案を公募
- 民間事業者等の提案について、(独)建築研究所が評価を行い、採択すべきものを選定。その結果を踏まえて国土交通省がモデル事業の採択・補助金額等を決定
(評価にあたり建築研究所では、「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業評価委員会(委員長：村上周三建築研究所理事長、評価委員5名、専門委員6名)」を設置。)



②補助の概要

- ・ 補助対象：整備費など（先導的な省CO₂技術に係る部分に限る）
- ・ 補助率：1／2以内
- ・ 補助対象者：建築主（個人、民間事業者など）など

③過去の採択状況

- ・ 平成 20 年度第 1 回（4/11～5/12）：提案数：120 件、採択数：10 件
- ・ 第 2 回（8/ 1～9/12）：提案数：34 件、採択数：10 件
- ・ 平成 21 年度第 1 回（2/ 6～3/16）：提案数：46 件、採択数：16 件(全般部門)